

## V 「やまぐち型地域連携教育」関連事業

- ① 地域とともにある高校づくり推進事業
- ② 地域とともにある特別支援学校づくり推進事業
- ③ やまぐち教育応援団
- ④ 山口県高校生ボランティアバンク
- ⑤ 地域ぐるみの防災キャンプ推進事業  
～大規模災害対応訓練～
- ⑥ 地域スポーツ人材の派遣
- ⑦ 子育て県民運動の取組
- ⑧ 老人クラブとの連携による取組の推進  
(シニア活躍！ねんりんパワー応援事業)
- ⑨ 総合型地域スポーツクラブの育成



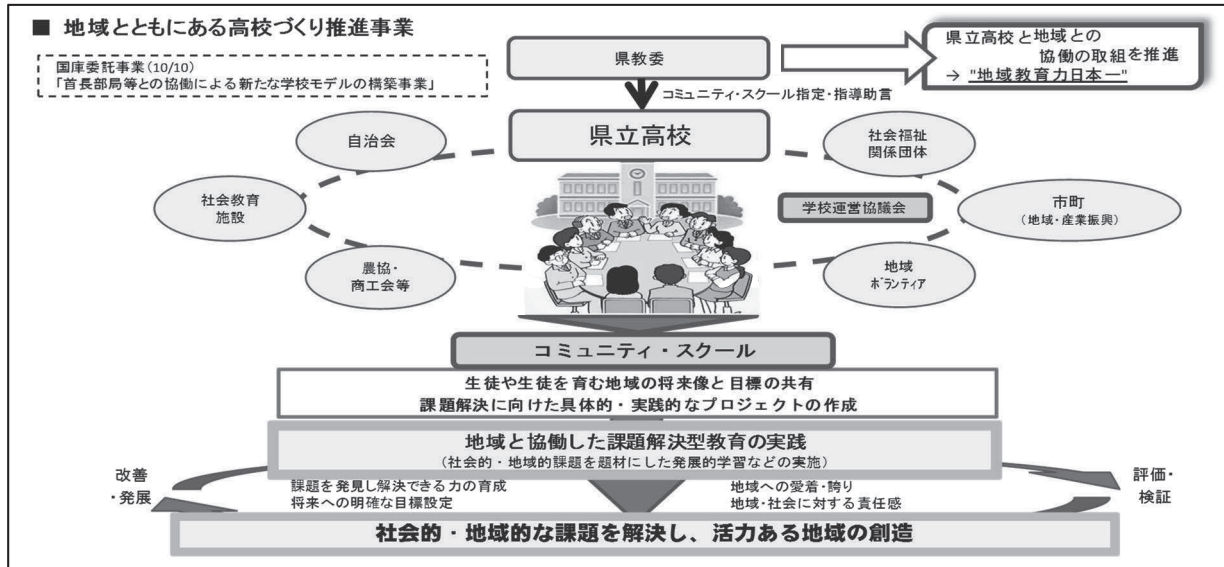
# 1 地域とともにある高校づくり推進事業

(高校教育課)

## 1 事業目的

県立高校にコミュニティ・スクールを導入し、地域コミュニティの衰退など学校・地域の差し迫った社会的・地域的な課題の解決に積極的に取り組む「地域に愛され、地域とともにある学校づくり」を推進する。

## 2 事業概要



## 3 事業内容

### (1) 高校へのコミュニティ・スクール導入による課題解決型教育モデル校事業【学校の取組】

[実施校] 周防大島高校、美祢青嶺高校、大津緑洋高校 (CS導入)

[取組内容]

- 「学校運営協議会」の設置・運営
  - ・ 学校と市町、自治会、中学校、大学、企業等による協働体制の確立
- 地域の課題解決のための取組
  - ・ 地域活性化や地域創生に向けた具体的な取組の検討、プロジェクトの実践
- 地域への情報発信
  - ・ 運営協議会の活動状況等情報を発信 (学校HP等)
- 先進校から講師招へいした講演 等

### (2) 県立高校と地域との協働推進事業【県教委の取組】

[取組内容]

- 課題解決型教育モデル校との連絡会議の開催
- 運営協議会の検討内容やプロジェクト実践状況の把握
- 課題解決型教育モデル校の取組事例の県内公立高校への普及 等

### 【参考】平成28年度 コミュニティ・スクールに指定した3校の取組

県立周防大島高等学校	県立美祢青嶺高等学校	県立大津緑洋高等学校
地元起業家と連携した「里山資本主義的インターンシップ」で、イチゴ栽培場やジャム店を訪問し、生産から加工、販売までを一貫して行う6次産業を体験した。	小学生科学教室の開催や地元小学校における工業科の作品展示など、魅力ある教育活動を発信するとともに、小学校とのつながりを深めた。	「地域に贈ろう『ありがとう』」地域からの『ありがとう』をチャレンジ目標に、高校生ならではの発想力で地元企業との協働による商品開発に取り組んだ。

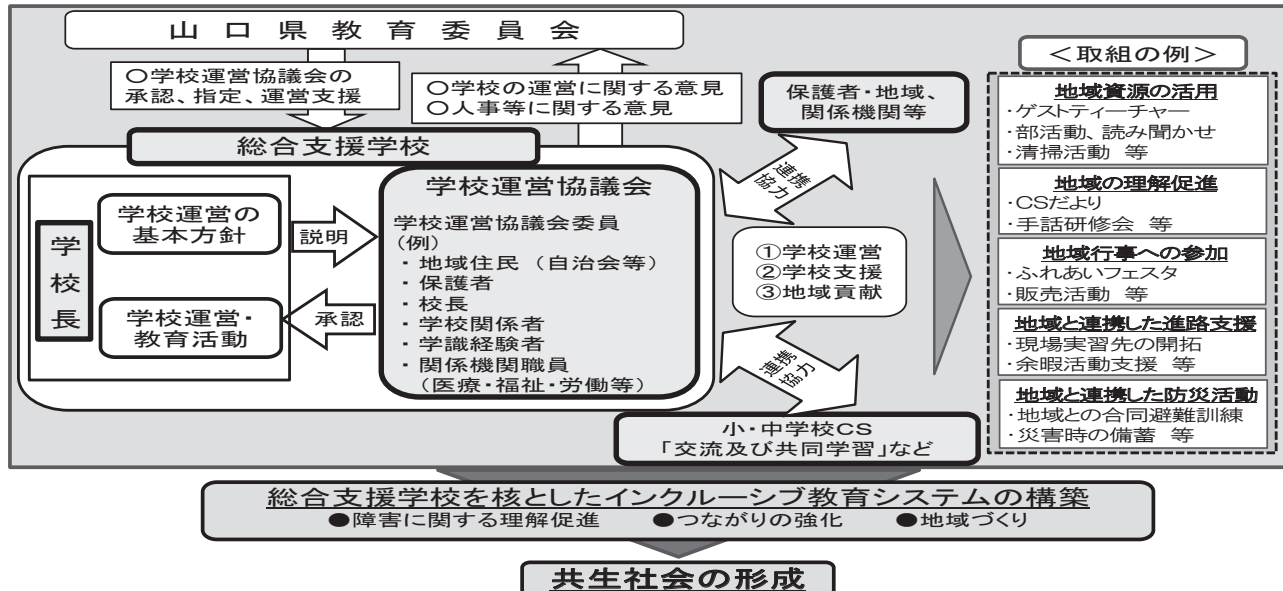
## 2 地域とともにある特別支援学校づくり推進事業

(特別支援教育推進室)

### 1 事業目的

県立特別支援学校にコミュニティ・スクールを導入し、障害のある子どもたちの自立と社会参加につながる「生きる力」の育成や、障害のある子どもたちへの地域の理解の一層の促進により、共生社会の形成に向けた取組を推進する。

### 2 事業概要



### 3 事業内容

特別支援学校へのコミュニティ・スクール導入に向けた「学校・地域協働活動」の推進

#### 【学校の取組】

- 宇部総合支援学校・下関総合支援学校にコミュニティ・スクール導入 (H28.9)
  - 【取組内容】
  - 「学校運営協議会」の設置・運営
    - ・学校と地域の自治会や小・中学校 CS、医療・福祉・労働等の関係者による協働体制の確立
  - 地域との協働活動の取組
    - ・近隣小学校のPTA総会用の資料を役員の方々と一緒に作成
    - ・近隣の高齢者施設に出向いて、自分たちで企画したレクリエーションや昼食の配膳を実施
    - ・地域の方を学校に招いて喫茶サービスを実施
    - ・地域のイベントに参加して販売・接客を実施
  - 先進校から講師を招いた講演会 等
- 今後、コミュニティ・スクールを導入予定の特別支援学校 (10校) において、設置検討協議会を開催

#### 【参考】平成28年度 コミュニティ・スクールに指定した2校の取組

県立宇部総合支援学校	県立下関総合支援学校	県立下関総合支援学校
地域交流センターで行われた「夏休み大作戦」において、作業学習で学んでいる高等部生徒が「さをり織り」の実技を、小学生に教えるなど地域に貢献した。	小学部の児童が、外部の専門家の協力を得た茶道の体験を通して、伝統文化に触れるとともに、地域の方や保護者への接待を行い、「おもてなしの心」を学んだ。	小学部の児童と保護者が、近隣農家の協力を得た稲刈り体験を通して、農家の方の大変さや感謝の気持ちを実感しながら、地域の方との交流を深めることができた。

(教育政策課)

## 1 「やまぐち教育応援団」とは

社会全体による教育、人材育成を推進するため、子どもの教育活動を支援する県内の事業所や団体を登録・認証し、子どもの様々なキャリア教育、体験・学習活動の充実・活性化を図るため、「やまぐち教育応援団」制度を設置し、平成20年10月1日から運用を開始した。

平成23年4月1日から、学校を支援する仕組みをさらに充実させるため、学校サポートバンクと一本化し、地域人材等の登録を可能にした。団員は、5011事業所等(平成29年1月末現在)である。

## 2 制度の概要

### (1) 団員の登録等

「やまぐち教育応援団」の趣旨に賛同し、申請を行った事業所等を団員として登録する。登録期間は3年間とし、以後は自動更新する。ただし、次に掲げる事業所等は対象外とする。

- 法令等の規定により子ども、若者等の立入りが規制されている事業所等
- 宗教又は政治活動を主たる目的とした事業所等
- 暴力団又は暴力団員の統制の下にある事業所等
- その他「やまぐち教育応援団」としてふさわしくないと認められる事業所等

また、団員に登録されると、次のような特典がある。

- 事業所等の活動において、「やまぐち教育応援団」の名称及びロゴの使用ができる。
- 団員の事業所等情報、活動分野と具体的な活動内容、事業所等の特色等を「やまぐち教育応援団」のウェブサイト(<http://shien.ysn21.jp/ouendan/>)に掲載し、県民に紹介できる。
- 団員が開催する事業所等内での教育関連講座への講師派遣を教育委員会事務局に要請することができる。
- 政策課題を評価項目とする入札参加者指名制度への登録が可能となる。

### 「やまぐち教育応援団」のロゴ「ええるくん」

- ・ 公募審査を経て現在のロゴを決定  
(平成20年7月15日)

#### ・ 愛称の由来

「やまぐち教育応援団」に登録した県内事業所の支援を受けて、子どもたちが元気に、未来に向けて育ててほしいという願いを込めて、エールを送るの「ええる」と山口弁のいいという意味の「ええ」から命名



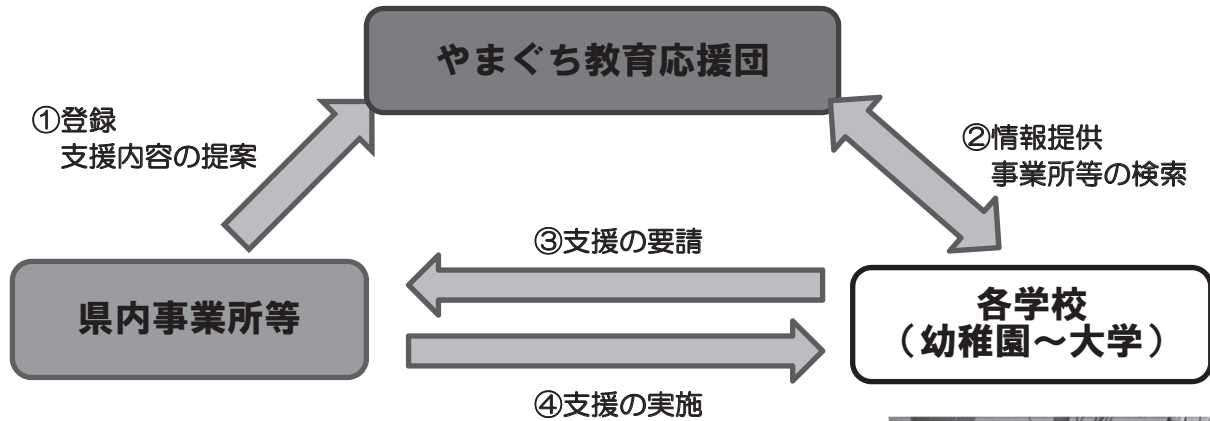
### (2) 団員の活動内容等

学校等は、事務局がウェブサイトにおいて提供する団員の支援活動情報を参考に、団員へ支援活動の依頼を行い、団員はその依頼に基づいて支援活動を行う。活動の内容は、以下のとおりである。

- 子ども、保護者等を対象とした体験イベント、学習講座等の開催
- 子どもの職場見学、就業体験等の受入れ
- 学校等への講師・指導者の派遣
- 教員研修への講師の派遣や企業研修・体験での教員の受入れ
- 学校等の教育活動に対する福祉施設の開放等、事業所等が協力可能な教育活動への支援

ただし、支援活動に関する具体的な内容、教材費等の必要経費、事故等による責任の所在等は、支援活動の依頼者である学校等と団員間の二者で取り決める。

(3) 制度活用の流れ



(4) 活用状況

平成 28 年に、「やまぐち教育応援団」を職場見学や講師招へいなど何らかの形で活用した学校の割合は、92.3%である。

その内容別の内訳は以下のとおりである。

- 登録事業所を職場見学や就業体験の場として活用 81.3%
- 登録事業所等での学習 53.9%
- 異校種間の連携 19.1%
- 登録事業所や地域人材等を講師や指導者として招へい 63.7%
- 登録している地域人材等を実技や部活等の補助的な指導者として活用 17.2%
- その他の活用（例：ウェブサイトを授業で活用など） 13.1%



生活科・総合的な学習の時間における漁業体験学習の様子

学校種	登録事業所を職場見学や就業体験等の場として活用			登録事業所や地域人材等を講師や指導者として招へい	地域人材等を実技や部活等の補助的な指導者として活用	その他の活用（例：ウェブサイトを授業で活用など）	「やまぐち教育応援団」を活用した学校の割合		
	職場見学 就業体験	事業所等 での学習	異校種間 の連携				H28	参 考	
								H27	H26
小学校	77.1%	63.1%	19.6%	67.4%	19.3%	15.0%	92.2%	91.7%	89.5%
中学校	85.1%	41.6%	20.1%	52.6%	13.6%	9.1%	90.6%	93.5%	94.2%
高等学校	74.2%	30.6%	14.5%	66.7%	14.5%	11.3%	95.1%	98.4%	98.4%
特別支援学校	92.3%	46.2%	0%	30.8%	7.7%	15.4%	100.0%	100.0%	100.0%
計	81.3%	53.9%	19.1%	63.7%	17.2%	13.1%	92.3%	93.2%	92.1%

(平成 29 年 1 月 教育政策課調べ)

### 3 成果と課題

- 県内のすべての小中学校にコミュニティ・スクールが設置されたことにより、ここ数年の間、「やまぐち教育応援団」を活用した学校の割合も高い水準で推移しており、学校と地域が連携したキャリア教育や体験活動が推進されてきている。
- 団員の数が充実したことにより、学校のニーズに応じた幅広い支援及び地域に密着した教育活動を行うことが可能になっている。
- 今後、より一層、地域の事業所・人材の活用が促進されるとともに、活用の質の高まりが図られるよう、引き続き、コーディネーター等に対する制度の周知及び研修会等における好事例の紹介等が必要である。また、今後も継続して新規登録事業所の開拓等を進めることにより、各学校における取組の質を高めていくことが大切である。

## 4 山口県高校生ボランティアバンク

(高校教育課)

### 1 趣旨

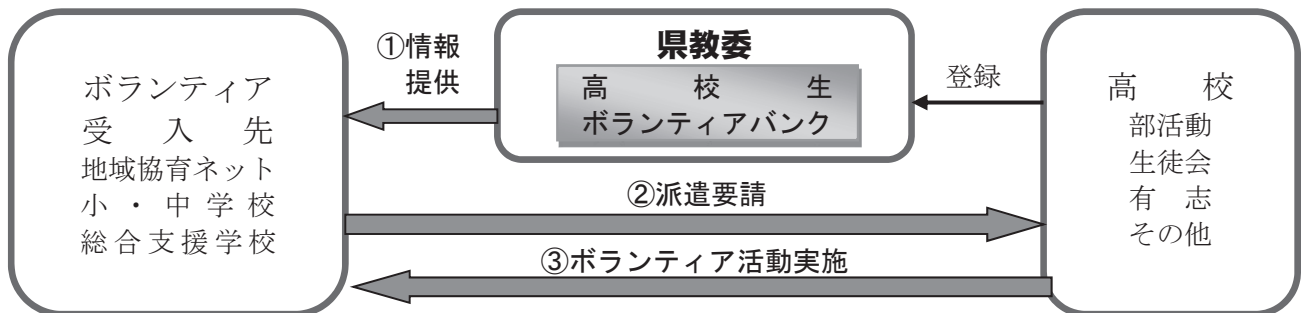
東日本大震災をきっかけに人と人との絆が改めて見直され、多様な他者とのつながりや支え合いの構築が重要視される中、他者を思いやり、共感したり感動したりする心や態度、社会に貢献しようとする態度などを育むことが、これまで以上に求められている。

こうした中、ボランティア活動は、高校生が社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを考える上で意義があると同時に、自己のよさや可能性を見出し、自分自身を高める上でも大きな教育的効果がある。

このため、県教委が高校生とボランティアの受入先をつなぐ「高校生ボランティアバンク」を設置し、地域における高校生のボランティア活動の活性化を図ることで、高校生の社会貢献や社会参加を促す。

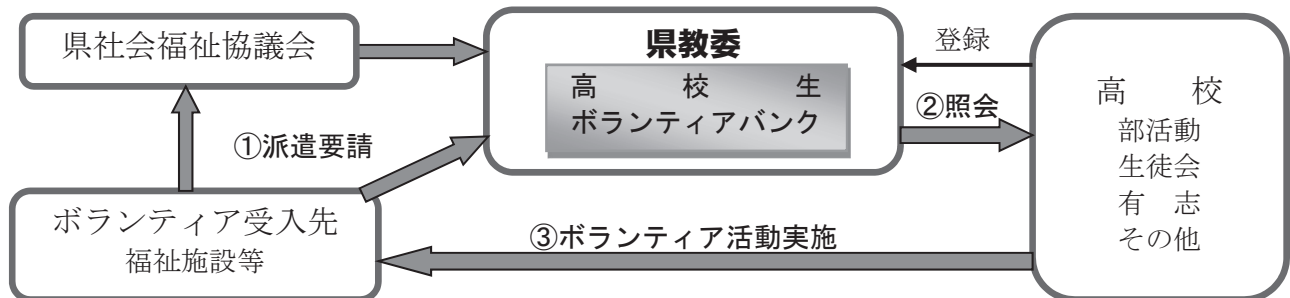
### 2 高校生ボランティア派遣の流れ

#### 【地域協育ネット及び学校におけるボランティアの場合】



- ① 県教委は、「ボランティアバンク」に登録している高校を高校教育課のHPに掲載し、情報を提供する。
- ② 地域協育ネット、小・中学校、総合支援学校は、高校教育課のHPに掲載されている登録高校の一覧表を見て、ボランティア活動日の1か月前までに、高校へ直接、ボランティアの派遣を要請する。
- ③ 高校と受入先で事前打合せを行った上で、ボランティア活動を実施する。

#### 【社会福祉協議会を通じたボランティアの場合】



- ① 福祉施設等の受入先は、ボランティア活動日の1か月前までに、県社会福祉協議会又は県教委高校教育課に、高校生ボランティアの派遣を要請する。
- ② 県教委が高校に照会し、マッチングを行う。
- ③ 高校と受入先で事前打合せを行った上で、ボランティア活動を実施する。

### 3 活動内容例

- 「地域協育ネット」に所属する各種団体が主催する行事への参加
- 学校の教育活動や地域で行う活動への支援
- 福祉施設における介助補助、清掃、レクリエーション
- 社会福祉協議会が実施しているボランティア活動への参加
- 公共施設や地域での清掃ボランティア

### 4 活動の様子（平成28年度の主な活動例）

- 県児童センター主催のイベントで、参加した幼児・児童の各種遊びのサポートや、イベント運営のお手伝いを行った。



幼児・児童を対象にしたイベントでのボランティア

### 5 登録状況（平成29年1月末現在）

高等学校	登録人数	高等学校	登録人数
周防大島高等学校	68名	宇部西高等学校	311名
岩国高等学校坂上分校	30名	宇部商業高等学校	42名
岩国高等学校広瀬分校	11名	宇部工業高等学校	8名
岩国総合高等学校	37名	小野田高等学校	18名
高森高等学校	12名	厚狭高等学校	7名
光丘高等学校	1名	美祢青嶺高等学校	8名
下松工業高等学校	6名	西市高等学校	8名
熊毛北高等学校	30名	下関中央工業高等学校	20名
徳山高等学校鹿野分校	7名	響高等学校	217名
新南陽高等学校	26名	豊北高等学校	29名
徳山商工高等学校	2名	大津緑洋高等学校大津校舎	77名
南陽工業高等学校	1名	大津緑洋高等学校日置校舎	5名
防府高等学校	4名	奈古高等学校	8名
防府商工高等学校	3名	下関中等教育学校	22名
山口高等学校	23名	高川学園高等学校	64名
山口中央高等学校	36名	野田学園高等学校	101名
西京高等学校	80名	宇部鴻城高等学校	65名
山口農業高等学校	49名	宇部ワレイ大学付属香川高等学校	29名
宇部高等学校	41名	サビエル高等学校	2名
宇部中央高等学校	20名		

計 1528名

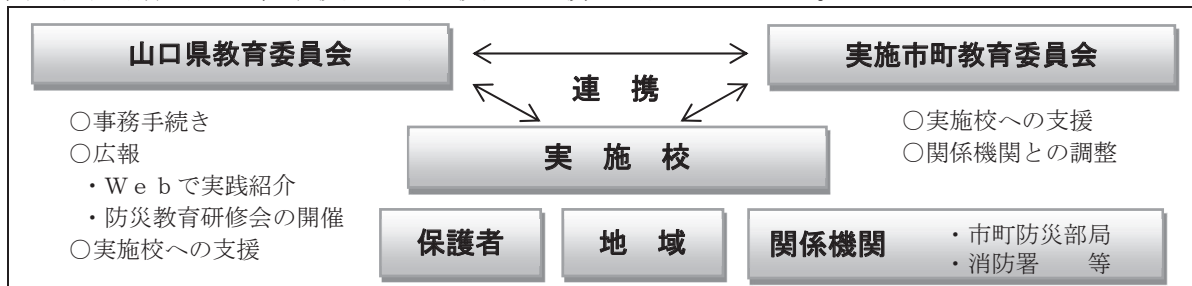
(学校安全・体育課)

## 1 趣旨

学校・保護者・地域・関係機関が連携した防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、炊き出し訓練、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。

## 2 実施体制

国の委託事業として、県教委と市町教委が連携して実施している。



## 3 実施状況

## 【下松市】地域ぐるみの防災キャンプ (H28. 7. 30～7. 31)

①実施場所：東陽小学校体育館

②参加者：東陽小学校児童25人、久保小学校児童21人、久保中学校生徒2人、教職員8人  
保護者45人、地域住民60人、市総務課防災危機管理室3人、市消防本部3人  
久保公民館3人、市教育委員会1人、県教育委員会1人

## ③プログラム

	12:00	13:30	14:30	15:30	17:00	19:00	21:00	21:30
開 会 行 事	避難者受け入れ	【学習Ⅰ】 [講演] 山口大学 三浦副学長	【学習Ⅱ】 [講話・実習] 市消防本部 ・応急手当 ・簡易担架	【学習Ⅲ】 避難所 づくり	【学習Ⅳ】 炊き出し 訓練 (夕食)	【学習Ⅴ】 [講話] 市総務課 防災危機管理室 [実習] ・夜間避難訓練	就寝 準備	就 寝
起 床	朝 食	清掃 ・ 片づけ	【学習Ⅵ】 [講習] 水難事故防止 ・着衣泳 ・救命方法 ・背浮き体験 等	振 返 り	学 習 発 表 会	閉 会 行 事	引 き 渡 し	

避難所開設の準備や実際に避難してきた地域住民の受付や誘導を体験しました。



周囲の安全に貢献できるように、応急手当や簡易担架づくりについて学びました。



## 【美祢市】地域ぐるみの防災キャンプ (H28. 8. 26～8. 27)

①実施場所：厚保中学校体育館、厚保公民館及び各地区避難所(小中学校)

②参加者：厚保小学校児童33人、川東小学校児童8人、東厚小学校児童5人  
厚保中学校生徒26人、厚保保育園園児12人、教職員25人、保護者25人  
地域住民20人、市教育委員会11人、県教育委員会1人



### ③プログラム

12:15	14:00	14:30	15:00	15:50	17:00	19:00	20:00	22:00
避難訓練	開会行事	【学習Ⅰ】 [講話] 学校防災 アドバイザー	【学習Ⅱ】 [防災クイズ] 中学校 生徒会	【学習Ⅲ】 避難所 ルールづくり	【学習Ⅳ】 [講話・演習] N T T 災害対策課	夕食 寝床づくり	【学習Ⅴ】 [講話] 自衛隊山口 地方協力本部	就寝準備 就寝
6:30	7:00	8:00	9:00	11:00				
起床	朝食	清掃・片づけ	【学習Ⅵ】 [講習] 防災・減災ワークショップ ・非常持ち出し品確認 ・応急手当・担架づくり ・救援グッズ体験 等	閉会行事				

避難所におけるルールについて班で話し合い、大判用紙にまとめました。



「災害伝言ダイヤル171」についての仕組みや使い方を学びました。



### 【平生町】地域ぐるみの防災キャンプ (H28. 8. 27~8. 28)

- ①実施場所：佐賀小学校体育館  
 ②参加者：佐賀小学校児童12人、平生中学校生徒19人、教職員12人、保護者11人  
 地域住民200人、町関係者6人、町教育委員会6人、県教育委員会1人

### ③プログラム

14:30	15:00	16:00	16:50	17:10	18:30	19:30	20:30	21:45
開会行事	【研修Ⅰ】 [講話] 学校防災 アドバイザー	【研修Ⅱ】 [給水訓練] 田布施・平生水 道企業団	【研修Ⅲ】 [グループワーク] 避難所生活 ルールづくり	夕食	【研修Ⅳ】 [講話] 自衛隊山口地方 協力本部	【研修Ⅴ】 避難所 づくり	就寝準備 体験	就寝
6:00	7:00	8:30	10:40	11:30				
起床	後片付け 朝食	【研修Ⅵ】 [体験型訓練] 心肺蘇生法、簡易担架・車椅子体験、初期消火 町総務課、柳井地区広域消防組合、町消防団	振り返り	閉会行事	引き渡し			

断水になったことを想定し、給水車による非常時給水訓練を体験しました。



地域の方と一緒に体験型防災訓練に参加し、初期消火等を体験しました。



## 4 成果と課題

学校、保護者、地域、関係機関がそれぞれの役割を再確認するとともに、日頃から緊密に連携することの必要性を再認識することができた。

また、児童生徒が災害についての正しい知識及び対応方法を学ぶことで、自分自身を守る力により、地域社会に貢献しようとする意識と実践力の育成を図ることができた。

課題としては、モデル地域の指定が終わった後も、いかに継続・発展させるかであり、今後、継続的な取組が行える体制づくりが求められている。

## 6 地域スポーツ人材の派遣

(学校安全・体育課)

### 1 趣 旨

体育及び運動・スポーツがもっている特性に応じた楽しさを体験し、より運動・スポーツに親しみきっかけとして、中・高等学校における体育的な活動場面において、地域のスポーツ指導者を派遣し生徒に実技指導を行うことで、望ましい運動習慣の形成、体力向上及び教員の指導力の向上に資する。

### 2 実施状況

平成21年度から、国の委託事業として実施している。



### 3 県教委の取組

#### (1) 保健体育科授業への派遣

武道及びダンス等において、優れた指導力をもつ地域のスポーツ指導者を活用し、教員との役割分担を明確にした効果的な指導を行うことで、武道及びダンス等の安全で充実した授業の展開と教員の指導力向上を目的としている。

昨年度より、課題がみられる領域についても広く対応できるよう、武道及びダンス以外の領域についても、地域のスポーツ指導者を派遣することとした。

平成24年度から中学校保健体育科で武道及びダンスが必修となり、武道関係団体等と協議の上、地域の武道各種目の有段者を対象とした「指導協力者リスト」を作成した。本県では柔道を実施する学校の割合が8割を超えることから、柔道の指導者リストについては、継続して活用しながら、他の領域・種目については、学校からの要請があった場合、各団体と連携し、地域の指導者を派遣する仕組みとした。

中学校の武道・ダンスの授業における地域のスポーツ指導者活用については、一定の成果を得ていることから、今後は、昨年度より派遣可能となった高等学校及び武道・ダンス以外の課題がみられる領域についても地域のスポーツ指導者を派遣し、より運動・スポーツに親しむことができる授業への取組を推進していく。

#### 【H28 実施内容と学校数】

中 学 校：武道4校（剣道3校、相撲1校）、ダンス3校

#### (2) 中・高等学校運動部活動への派遣

中・高等学校における運動部活動に対して、専門的な技術指導力を備えた地域のスポーツ指導者やスポーツ医・科学的知見を有するトレーナー等を派遣することにより、多様化する生徒のニーズへの対応、複数の指導者による安心・安全な指導の充実、部顧問の負担軽減、スポーツ障害の予防など、地域社会と連携した部活動の活性化を図ることを目的としている。

今年度の実施内容と学校数は、以下のとおりである。

#### 【H28実施内容と学校数】

中 学 校：バスケットボール6校、バドミントン4校、ソフトテニス2校、卓球2校、バレーボール2校、サッカー2校、弓道2校、剣道2校、以下テニス、陸上競技、軟式野球、各1校

高等学校：バスケットボール6校、野球4校、弓道5校、サッカー7校、ハンドボール5校、ソフトテニス2校、陸上競技2校、以下バレーボール、フェンシング、ラグビー、剣道、柔道、各1校

(3) 実施状況

年 度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
派遣校数及び人数		校 数	人 数	校 数	人 数	校 数	人 数
中学校	授 業	14	14	11	12	7	10
	運動部活動等	15	24	14	28	16	27
高 校	授 業			1	1		
	運動部活動等	24	35	24	48	23	42

4 成果と課題

【成果】

(保健体育科授業)

- ・ 武道・ダンス等の授業において、地域のスポーツ人材を活用することで、安全面における指導体制の整備や質の高い授業の実践及び教員の指導力向上に繋がった。

(運動部活動)

- ・ 運動部活動において、地域のスポーツ人材を活用することで、生徒の多様化するニーズへの対応や顧問の指導力向上及び負担軽減に繋がった。
- ・ スポーツ医・科学的知見を有するトレーナー等を活用することで、スポーツ障害の予防やより効率的効果的な練習方法への改善がみられた。

【課題】

(保健体育科授業)

- ・ 地域のスポーツ指導者との派遣日程の調整、授業における地域のスポーツ指導者と教員の役割の明確化について課題がみられ、事前の打ち合わせ等の時間の確保が必要である。

(運動部活動)

- ・ 運動部活動においては、各学校から実施状況以上の要請があるが、旅費等の経費面から十分な対応ができていない。
- ・ 指導者の経験や実践に頼るだけでない科学的な指導方法の導入。

	
<p>○地域の指導者から、面打ちの指導を受ける。 (中学校)</p>	<p>○地域の指導者から、現代的なリズムのダンスの指導を受ける。 (高等学校)</p>
	
<p>○地域の指導者から、ウォーミングアップの指導を受ける。 (中学校部活動)</p>	<p>○トレーナーから、トレーニング指導を受ける。 (高等学校部活動)</p>

# 7 子育て県民運動の取組

(健康福祉部 こども政策課)

## 1 趣旨

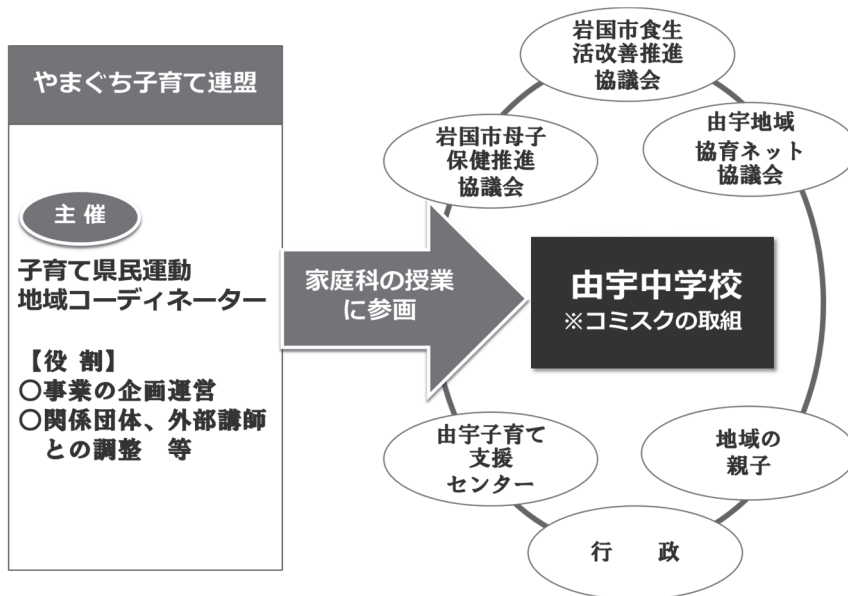
「子育て県民運動」とは、社会全体で子育てを支える環境づくりをめざすものであり、「やまぐち子育て連盟」(キャプテン：村岡知事)を推進母体とし、その調整役である「子育て県民運動地域コーディネーター」を中心に、県内各地域において、子育て支援イベントやセミナーの開催など、自主的・主体的な実践活動を展開している。

また、これまでの子育て支援活動のネットワークを生かし、乳幼児とのふれあい体験など、学校を舞台とした子育て体験交流活動を推進している。

## 2 平成28年度の学校・家庭・地域と連携した取組例

### ○中学生と乳幼児親子とのふれあい体験の実施(11/18 岩国市)

「子育て県民運動地域コーディネーター」を中心に地域ぐるみの実行体制を構築し、由宇中学校の家庭科の授業の中で乳幼児親子とのふれあい体験等を実施した。



離乳食づくり



乳幼児親子とのふれあい体験

### ○「やまぐち子育て県民運動研修会」の開催(8/24 山口市)

地域の子育て支援関係者の資質向上やネットワーク強化を目的とする研修に、山口CSコンダクター、統括コーディネーター、家庭教育アドバイザーも初めて参加し、福祉分野と教育分野が連携して新たな取組に繋げていく実践的な研修会となった。



## 3 今後の展開

「みんなで子育て応援山口県」をキャッチフレーズに、社会全体で子どもたちや子育て家庭を支える取組を引き続き進めていく中、新たに、中学生や高校生を対象に、結婚・出産・子育てに係る前向きな気運を醸成していくためのモデル事業を、コミュニティ・スクールの取組等と連携し実施することとしている。

(乳幼児親子とのふれあい体験やライフプランニングセミナー等)



# 8 老人クラブとの連携による取組の推進 (シニア活躍！ねんりんパワー応援事業)

(健康福祉部 長寿社会課)

## 趣旨

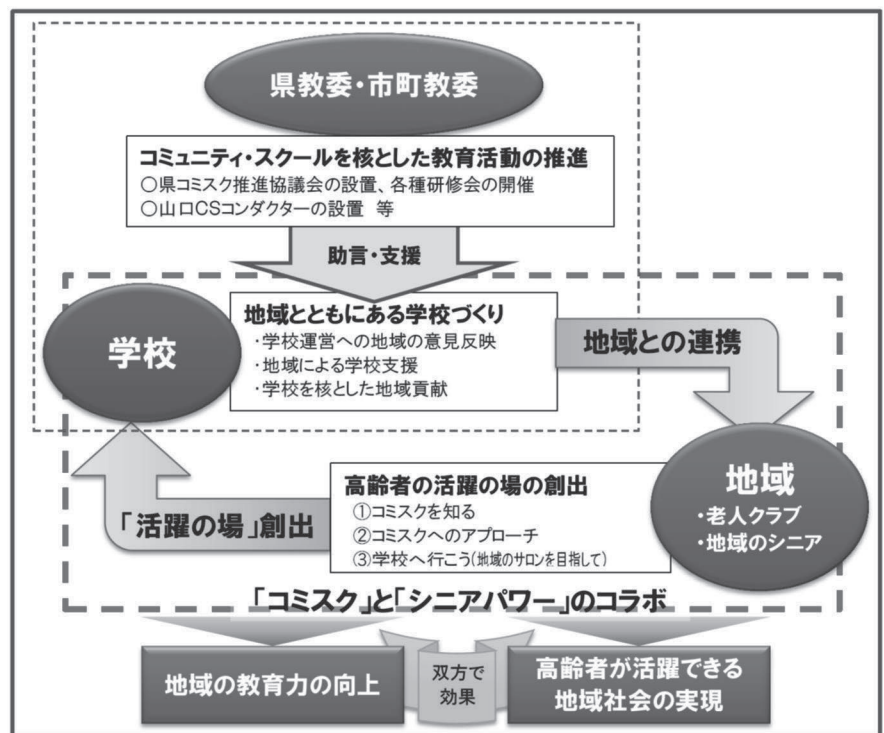
平成 27 年 10 月に行われた「ねんりんピックやまぐち大会」を契機とする、高齢者のスポーツ・文化活動への関心や社会参加意識の高まりを継承・発展させるため、老人クラブによるコミュニティ・スクールへの参画を推進する。高齢者の豊かな知識や経験を活かしながら、地域の教育力の向上を図るとともに、コミスクの取組の中で高齢者の活躍の場を創出することにより、高齢者が活躍できる地域社会の実現を図る。

### ▼老人クラブとコミュニティ・スクールの連携による3つの効果への期待

- 地域の拠り所としての「学校」→ ①高齢者の社会参加の促進
- 高齢者の知識・経験を活かせる場としての「学校」→ ②高齢者の社会貢献活動の推進 ③世代間交流の推進

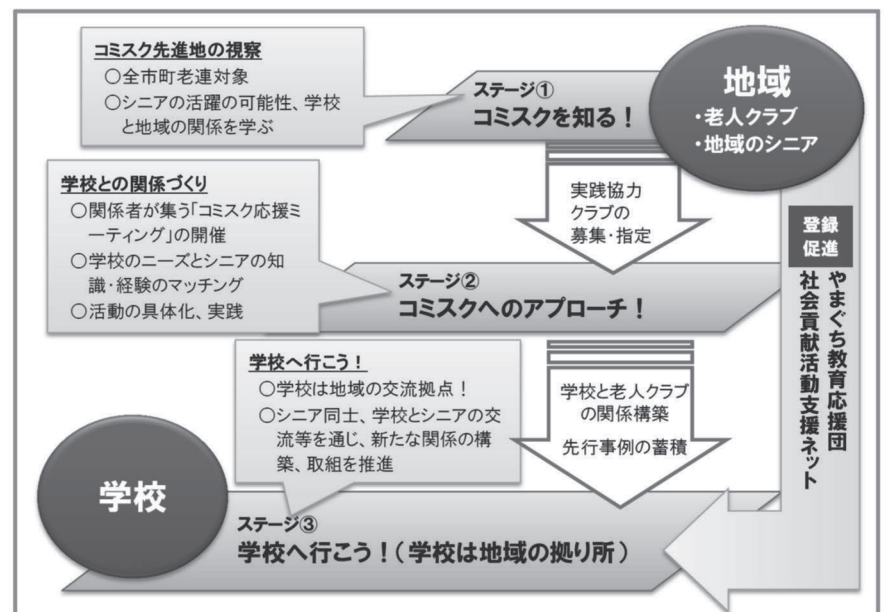
## 事業スキーム

地域の高齢者が、老人クラブを核として、地域の教育力の担い手として総合的な学習の時間や学校支援などに積極的に参画することにより、「地域の教育力の向上」と「高齢者が活躍できる地域社会の実現」の双方で効果をめざす。



## 事業展開

まず、老人クラブ役員のコミスクへの理解を深めることから着手。各地域では、学校からのニーズを把握しながら、活動の方向性を具体化。コミスクへの参画により、高齢者の活躍の場を創出するとともに、その活動の成果を活かすため、「社会貢献活動支援ネット」や「やまぐち教育応援団」への登録を通じ、地域の教育力としてのシニアパワーの売り込みと需要拡大につなげる。



## 具体的な取組

### (1) 老人クラブによるコミュニティ・スクールの視察

県老人クラブ連合会、各市町老人クラブ連合会の役員がコミュニティ・スクールの取組を視察。

#### ① 周南市立岐山小学校

7月12日（火）18名参加

「ひまわりタイム」の取組を視察



①岐山小学校

#### ② 山口市立鑄銭司小学校

7月25日（月）17名参加

「紙しばいをつくろう会」の取組を視察



②鑄銭司小学校



活動グループとの意見交換  
(①岐山小学校)

### (2) モデル老人クラブの指定

先駆的な取組を行う老人クラブをモデルクラブとして指定。  
応募のあった4市の6クラブを指定。

	市町名	クラブ名	対象学校	主な取組	
				現	新
1	防府市	岩畠悠交会 上木部老人クラブ	牟礼小学校	現	農業、文化体験活動
2	下松市	久保地区老人クラブ連合会	久保小学校	現	昔遊び、ゲートボール指導
				新	家庭におけるしつけに関する支援
3	下松市	花岡友愛クラブ 南花岡老人クラブ	花岡小学校	現	昔遊び
				新	地域の歴史、昔話
4	光市	周防地区老人クラブ連合会	周防小学校	現	池の鯉作戦
				新	通学合宿、昔の暮らし体験
5	周南市	旭壽会、のんた会、白寿会、 梅園長生会、舞車長寿会	徳山小学校	現	昔遊び、緑化活動ほか
				新	放課後支援、授業支援、大人の学びほか
6	周南市	桜木地区老人クラブ連合会	周陽中学校	現	登下校の見守り活動、自習サポートほか
				新	自習サポートの強化ほか

**《コミスク参加》 地域で輝く老人クラブを目指して！**

**活動充実**

シニアの「知識と経験」は地域の宝  
**子どもたちとの交流を一層促進**

- 各学校のコミスクの取組は益々充実していきます。
- シニアだからできることがあるはず！

**発展**

シニアのチカラを広く売り込み  
**活躍の場を広げませんか**

- 「やまぐち教育応援団」に登録し、活躍の場を拡大！

ちょっと立ち寄る縁側気分で！

**学校は地域の交流拠点**

健康づくり

健康  
つながり

- 健康づくり** 毎日のウォーキングで学校に向かってみませんか
- 防犯** 子どもたちとの登下校は防犯にも効果
- 交流** コミスクルーム等で先生方や地域の人たちと新たなつながりづくり



花岡友愛クラブ  
(おりがみ教室)



久保地区老人クラブ連合会  
(昔あそび/あやとり)

### 今後の取組の方向性

活動報告会等を通じて、モデルクラブの取組事例を他の老人クラブに普及・拡大させるとともに、地域の教育力として高齢者の活躍の場を拡大し、高齢者の社会参加と世代間交流を促進していく。

(観光スポーツ文化部 スポーツ推進課)

## 1 趣旨

県民誰もが一人ひとりの年齢、体力、関心や適性等に応じて、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画できるよう、地域スポーツ活動拠点である総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の育成を図る。

## 2 育成及び活動状況

○ 育成状況の推移（各年度とも7月1日現在の数）

内訳	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
育成数（クラブ数）		32	38	45	46	48	49	50	49	51
	設立クラブ	27	30	32	36	44	46	47	47	48
	準備中	5	8	13	10	4	3	3	2	3

○ H28年度の主な活動状況

- ・学校との連携（運動部活動の代替、指導者派遣等）：23クラブ
- ・子育て支援（放課後子ども教室への指導者派遣等）：22クラブ

## 3 県の取組

○ 総合型クラブ設立加速化対策

- ・総合型クラブ創設・育成研修会の開催  
県、市町、県体協、クラブ関係者による全県的なクラブ設立・育成に向けた支援体制の整備
- ・総合型クラブマネージャー養成講習会の開催  
総合型クラブの設立、運営の核となる多様な人材の確保・養成（Ⅰ期：7月、Ⅱ期：8月）  
※クラブマネージャーの主な役割  
事業・予算などの計画立案、広報活動、会員の募集・管理、外部関係団体との連絡調整など

○ 総合型クラブ活動の充実・会員数増加対策

- ・広域スポーツセンターの機能強化  
県内3地区（東部：徳山大学、中部：県体育協会、西部：東亜大学）の広域スポーツセンターへコーディネーターを配置し、総合型クラブへの支援を強化
- ・企画運営能力向上研修の開催  
コーディネーターの主導の下、各クラブを運営面や指導面から支えることのできる「拠点クラブ」の育成を目的として、総合型クラブが連携した交流大会等の開催を支援
- ・スポーツ指導者等派遣事業の実施  
各種スポーツ指導者等の派遣により、総合型クラブへの住民の参加促進と新規事業の開設支援
- ・アクティブスポーツ交流会の開催  
総合型クラブの紹介や、健康・体力づくり教室の実施



## 4 成果と課題

## 【成果】

- 地域におけるスポーツ活動の充実（「住民の交流の活性化」「スポーツ参加機会の増加」等）
- 総合型クラブに関わる人材（クラブマネージャー等）の増加
- コーディネーターの支援による各クラブの企画運営能力の向上

## 【課題】

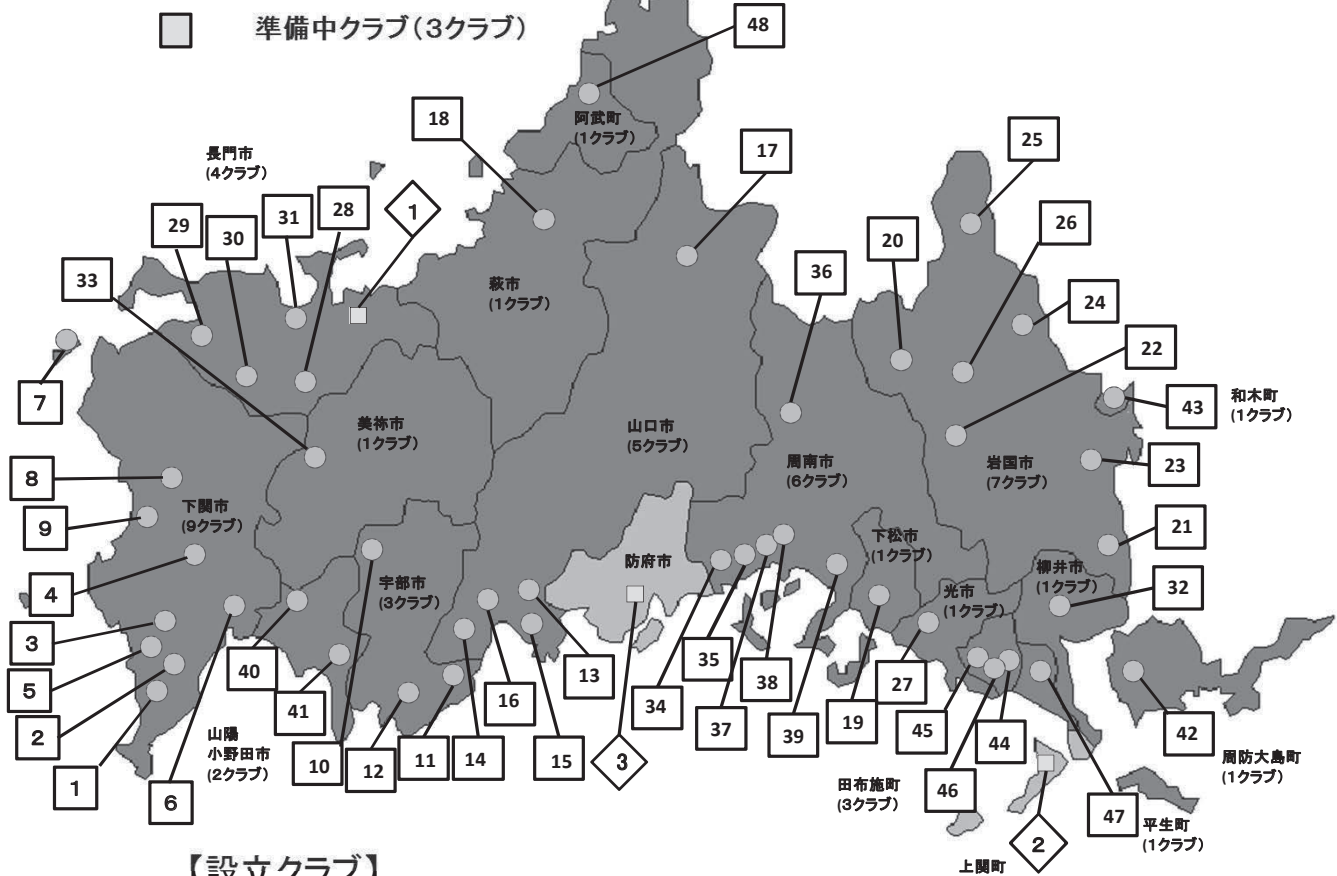
- 地域住民の身近な生活圏を範疇とした設立の加速化
- 地域の多様なニーズに対応した活動の充実と会員数の増加
- 総合型クラブと学校等が連携・協働した取組の促進
- 拠点としての役割を果たすことのできる自立した総合型クラブの育成



# 山口県総合型地域スポーツクラブ育成状況

平成28年7月1日現在

- クラブ設立市町(17市町)
- クラブ未設立のうち準備中クラブのある市町(1市1町)
- 設立クラブ(48クラブ)
- 準備中クラブ(3クラブ)



## 【設立クラブ】

市町名	クラブ名	市町名	クラブ名	市町名	クラブ名
1	いきいき健康スポーツ教室	19	下松市 くだまつ絆星スポーツクラブ	37	今宿スポーツクラブ
2	総合型地域スポーツクラブBLUE ROSE	20	にしきエンジョイススポーツクラブ	38	周南市 くめくめ倶楽部
3	コミュニティクラブ東垂	21	特定非営利活動法人ゆうスポーツクラブ	39	榎浜スポーツクラブ
4	一般社団法人菊川スポーツクラブ	22	KUGAスポーツクラブ	40	山陽小野田市 出合いちようクラブ
5	下関市 川中スポーツ振興会	23	岩国市 IDBスポーツクラブ	41	すげえちゃ・高泊
6	王喜スポーツ・コミュニティクラブ	24	美和スポーツクラブ	42	周防大島町 NPO法人ココロとカラダ健研究会
7	角島地区スポーツ育成クラブ	25	ほんごう維新クラブ	43	和木町 和木町総合型地域スポーツクラブ
8	豊田中いなほ倶楽部	26	美川スポーツクラブ まめな会	44	田布施スポーツクラブ
9	コムスポ夢が丘	27	光市 スポーツNPO法人ひかりクラブ	45	田布施町 コミュニティスポーツ城南
10	NPO法人コミュニティスポーツくすのき	28	クラブネッツ大畑	46	田布施ふれあいスポーツクラブ
11	宇部市 NPO法人Goppoええぞなクラブ	29	長門市 いがみ倶楽部	47	平生町 平生ゆうゆうクラブ
12	特定非営利活動法人おもしろファーム	30	長門市 俵山スポーツクラブ	48	阿武町 宇田ふれあいクラブ
13	鑄銭司蔵六コミュニティスポーツクラブ	31	長門市 長門スポーツクラブ		
14	佐山コミュニティスポーツクラブ	32	柳井市 SAスポーツクラブ		
15	山口市 二島コミュニティクラブ	33	美祿市 むぎがわ元気クラブ		
16	名田島コミュニティクラブ	34	新南陽レクリエーション・スポーツ推進委員会		
17	コミュニティスポーツクラブあとう	35	周南市 周南にこにこGUTS		
18	萩市 むつみスポーツ振興会	36	周南市 鹿野スポーツ振興会		

## 【準備中クラブ】

市町名	クラブ名
1	長門市 三隅コミュニティクラブ
2	上関町 Kaminosekin Dreams
3	防府市 幸せます防府設立準備委員会